



社会貢献型インターンシップ
第6回「クラダシチャレンジ」in 高知県北川村



Today's
Agenda

#01

クラダシチャレンジとは

#02

毎日の記録

#03

参加者の声

#04

総括

#1. クラダシチャレンジとは

社会貢献型インターンシップ 第6回「クラダシチャレンジ」in 高知県北川村

- 活動内容:①高知県北川村の農家にてゆずの収穫
②SNS等を利用した地方の魅力発信
- 開催期間:2020年11月27日(金)~2020年12月1日(火)
- 参加人数:大学生11名
- 実施企業:株式会社クラダシ KURADASHI地方創生基金



KURADASHI 地方創生基金

人手不足で収穫できない農家に学生をインターンシップとして送ることで、一次産品の未収穫廃棄品をレスキュー。収穫できた農作物をクラダシで販売し、支援金が増えることで人手不足による未収穫による残りをさらに減らすことができるエコシステム。

得られるメリット

- **地方労働力の提供**
クラダシチャレンジ（インターン）により学生派遣
- **学生の食育や食品ロスの削減**
食品ロス削減に意識の高い学生の食育・体験
- **収穫商品の再流通**
学生の収穫した商品をクラダシで流通（農家の収益増加）



#1. クラダシチャレンジとは

高知県北川村クラダシチャレンジの概要



【クラダシチャレンジとは】

クラダシでは、地方創生や食品ロス問題に興味がある学生が、人手不足に悩む地方農家での収穫支援を通し、地域課題や食品ロス問題について考える、社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」を実施しています。参加学生の旅費は、地域経済の活性化と社会発展に寄与するため設立した、「KURADASHI地方創生基金」から支援しています。

高知県は全国シェアの約半分を占める柚子生産県であり、中でもトップクラスの生産量を誇ってきた北川村産の柚子は、柚子酢や調味料、ジュースなどに加工されて、全国に出荷されています。しかしながら、総人口が約1200人と深刻な人口減少の問題を抱えている北川村にとって、はしごを使いながら、1粒ずつ手作業で収穫をするゆず生産は、人出が必要であることに加え、はしごでの作業は怪我のリスクが高く、高齢の方による作業は非常に大変です。

#クラダシチャレンジ in 北川村



①未収穫作物の収穫による新たな収益の獲得

地方では、農業人口の高齢化・労働者人口の不足によって、未収穫作物の発生が増加しています。高知県北川村で生産されているゆずの収穫は、一粒ずつ手作業で行われるため、時間と人手が必要です。収穫作業の必要な時期に学生を派遣することで、**未収穫による一次製品の食品ロスが解決される**と同時に、農家さんの新たな収益を獲得することができます。

②地方の関係人口の増加に貢献、若者を呼び地域振興に

地元の方から見たら当たり前の風景でも、都心にいる学生から見ればとても価値のあるものに見え、**地元の商品や土地に誇りを持つことができます**。そして、SNS等を利用して地方の魅力を発信することで、**地方の関係人口の増加を図ることができます**。

③地元の特産品の購買促進に

高知県北川村には、ゆずの他にも、モネの庭や北川村温泉など様々な見所があります。そのような素晴らしい魅力を、活動を通してPRすることで、**購買促進・観光客の増加**を図ることができます。

#クラダシチャレンジ in 北川村



▼
モ
ネ
の
庭
の
景
色





#2. 毎日の記録

1日目は午前中が移動、午後は5日間お世話になる人たちへの挨拶回りを行いました。

村長さんたちを混じえた歓迎会にて現地の方との交流をし、夕食では高知の名産を沢山頂きました！

<スケジュール>

8:30 全員集合
9:35 飛行機搭乗
~11:00 飛行機移動
~12:00 レンタカー借りる
~13:00 レンタカー移動
~13:45 昼食
~14:30 レンタカー移動
~15:30 宿泊施設到着
~16:00 レンタカー移動
~16:30 北川村村長さんセレモニー
~17:00 レンタカー移動
~17:15 柚子農園視察
~18:00 レンタカー移動
~19:30 夕食
~20:00 レンタカー移動
~22:30 自由時間
22:30~ 振り返り&Mtg



#高知県の美しい海岸



#海沿いの美味しいカフェで



#歓迎会のご飯
(高知の名産たくさん！)

高知県を訪れるのが初めてであった私にとって、自然豊かで海沿いを走って車で走行したことは非常に気持ちが良く、とても素晴らしい経験でした。到着した直後に訪れたカフェレストランも、景観も素晴らしく、料理も大変美味しかったです。

北川村に到着すると、村全体がゆずの香りで包まれており、さらにゆずが至る所になっており、大変素敵な雰囲気を感じました。その後、村長、副村長がセレモニーを行ってくださり、どのような想いで今回の受け入れを承諾してくださったのか、北川村をどのように発展させていきたいのかというのを聞いて、今回の活動の中で少しでも貢献していきたいと改めて思いました。また、そのような熱い想いを持って、日々の仕事に取り組んでいることは、これから社会に出ていく私たち大学生にとって、非常に刺激になりました。



2日目は、北川村に来て初めてとなる柚子狩りを行いました。クラダシを通じて販売予定であった500kgを収穫しきるという目標を立て、それを上回る余りある量の収穫を行うことができました。

<スケジュール>

8:30 全員集合
 ~9:30 移動
 ~12:00 柚子狩り
 ~13:00 昼食
 ~16:00 柚子狩り
 ~17:00 トラブル対応
 ~18:00 移動
 ~19:30 夕食
 ~21:00 自由時間
 21:00~ 振り返り



#収穫前の柚子



#収穫後の柚子

#集合写真
(※マスク外しています)

2日目は北川村に来て初めてのゆず収穫を行いました。クラダシで販売予定である 500kgを収穫の目標とし、11人で協力しながら収穫しました。ゆずの木はトゲが鋭く、上から下まで実がなっているため1本の木の収穫を終えるのにも一苦勞。想像以上に大変な作業で農家の方が普段行っている作業のすばらしさを身をもって体感しました。

収穫の合間には、現地の商店の方が用意してくれた昼食をいただきました。その後収穫作業は無事に終了したのですが、宿に戻る際に帰る際、車のバッテリーが上がってしまい、エンジンが掛からなくなるというトラブルが発生しました。そんなトラブルも、現地でお世話になっている田所さんに助けていただき、解決することができました。しっかりと恩をお返しできるように、作業に取り組んでいきたいと改めて思いました ... !



3日目は、昨日収穫した500kgの柚子を選果し、梱包して郵送するという作業を行いました。実際にお客様に届ける商品を上流から下流まで自分たちで行うという貴重な体験をさせていただきました。

<スケジュール>

8:45 全員集合
~9:30 移動
~12:00 梱包作業
~13:00 昼食
~16:00 梱包作業
~17:00 事後作業/到着待ち
~18:00 移動
~19:30 夕食
~21:00 自由時間
21:00~ 振り返り



#梱包作業中のメンバー1



#梱包作業中のメンバー2



#集合写真
(※マスク外していません)

3日目は、2日目に収穫した柚子を梱包しました。

柚子を大きさ・形・傷の有無などから A級、B級、C級に階級分けをし、段ボールに一つずつ丁寧に詰めていく作業を進めましたが、階級分けの判断などは学生にとっては困難だったため、農家の方に教わりながら作業をしました。傷がついているために販売できない柚子も多いようで、柚子収穫の難しさを実感しました。柚子収穫の一連の流れを見て、改めて農家の方が柚子にかける想いなどを感じ、多くの人にゆずの魅力が届いてほしいと思いました。そして、私たちが実際に収穫し、箱詰めしたゆずが商品として消費者の方に届くということで、生産者の立場を擬似体験することができ、より食べ物大切さを感じた瞬間でした。



午前中はモネの庭を堪能しました。庭園は自然が素晴らしく、北川村の魅力をまた一つ知ることができました。午後からの作業では、ゆずの収穫も手慣れてきて、より多くのゆずを収穫できました。

<スケジュール>

10:00 全員集合
 ~10:30 移動
 ~12:30 モネの庭
 ~13:00 移動
 ~14:00 昼食
 ~14:30 準備/お見送り
 ~15:00 移動
 ~17:00 柚子の収穫
 ~17:30 移動
 ~19:30 夕食
 ~20:00 準備/移動
 ~21:00 温泉
 ~22:00 移動/片付け
 22:00~ 振り返り



#モネの庭1



#モネの庭2



#柚子ソフトクリーム

午前中は北川村観光協会様のご好意で、自由時間をいただき、モネの庭に行くことができました！

庭園は広大な敷地に広がっており、色彩豊かな花々は美しく、時間の許す限り魅力を堪能しました。北川村の見所をまた一つ知ることができました。

午後からは、農家の方のお手伝いとしてゆずの収穫を行いました。みんな手慣れた様子で、昨日よりも手際よく収穫量を増やすことができました。

夜は北川村温泉に行きました。北川村温泉は、少しとろみがあり、肌がしっとりするような泉質で、収穫作業の疲れを癒すことができました。



午前中は微力ながらも一生懸命柚子の収穫に取り組み、5日間のお手伝いを締め括りました。

改めて今回の滞在を通じ、改めて、農家の方々の熱い想いと地方の魅力を実感することができました。

<スケジュール>

- ~9:00 片付け
- ~9:45 移動
- ~11:45 柚子の収穫
- ~12:30 片付け/移動
- ~13:15 昼食(ラーメン)
- ~14:15 移動/村民会館
- ~16:15 移動
- ~16:40 坂本龍馬像観光
- ~17:10 移動
- ~17:30 チェックイン
- ~18:05 フライト前準備
- ~19:20 飛行機移動
- 19:30 解散



#桂浜海岸



#北川村ラーメン



#坂本龍馬像前

最終日の5日目は、今までお世話になった施設の片付けから 1日が始まりました。今回は北川村の移住施設を特別に貸していただき、5日間利用させていただきことに感謝して、全員で協力して清掃を行いました。

柚子の収穫に関しては、午前中の間、6人で作業をしてやっと15箱程度の収穫ができました。しかし、農家の方の話によると、これから1000~2000箱ほど収穫しなければならないのだとおっしゃっており、自分たちが手伝った範囲が本当に微量であったと感じました。そして本当に貴重な食材を一人一人の消費者のことを考えて栽培している農家の方々は大変素敵だと思いました。農家の方々の苦勞が報われるよう、少しでもゆずのロス問題や人手不足が解消の力になりたいという思いが強くなりました。



北川村小学校との交流

今回のクラダシチャレンジでは、北川村が注力している「食育の充実」を目的に、北川村の小学生との交流の機会をいただきました。

予定では、実際に小学校を訪問し、小学生と一緒に収穫作業を行うことになっておりましたが、コロナの影響で中止。

そんな中でも、小学生の皆さんに自分たちの活動のことを知ってもらい北川村の魅力を再認識してもらいたい、そんな思いから、

以下のような掲示物を制作しました！

実際の交流ができなかったことは非常に残念でしたが、別の形で素晴らしい交流の機会ができたと感じています。



#3. 参加者の声

#生の体験が原動力となる

情報に溢れた現代において、単に”知っている”ことは何の価値も持ちません。スマホ一つでなんでも”知る”ことができる時代だからこそ、実際に”体験する”ことの価値が非常に高まっていると感じます。今回のクラダシチャレンジでは、村民の方々が抱えるリアルな課題観、一筋縄では解決できない地方創生問題の難しさに直面しました。そして、そのような課題観は、現地の方々の想いに触れたことで、一気に他人事ではなく自分ごとになっていきました。溢れる情報の中で見つけた関心の種を、実体験の中で芽吹かせていく。そんなきっかけを与えてくれたのが、今回のクラダシチャレンジだったと思います。

早稲田大学3年

木村 優衣

#柚子が香る北川村での5日間

北川村の魅力はなんといっても、村全体を包み込む柚子の香り。農家の方々が消費者への想いを持って栽培するこれらの柚子は一つ一つが丁寧に作られており、大変魅力的でした。また、村長さんや副村長さんの話を聞いて、北川村を元気ある村にしたいという想いがひしひしと伝わってきました。本当に素敵な想いだと感じたし、少しでもできることがあれば、今後も協力していきたいという思いが生まれました。山や川など自然に囲まれた本当に素晴らしい場所なので、より多くの学生に訪れてもらい、貴重な時間を過ごしてもらいたいと思っています。

早稲田大学3年

山田 裕太郎

#村の方の北川村への想いを感じた5日間

普段味わうことの出来ない素晴らしい体験が出来た5日間でした。今回食品ロスと地方創生について考える機会として高知県北川村を訪れましたが、村の方々がとても暖かく優しい方ばかりで楽しい時間を過ごすことが出来ました。北川村をどう活性化させていくのかを役場の方だけでなく村の方全員が考えている姿を見て、皆さんが村を愛する気持ちが伝わってきました。そんな北川村の少しでも役に立てるようSNSなどを通じて発信していきたいなと思いました。またいつか北川村を訪れたいです。

実践女子大学3年

安藤 美詞

#見にくいものを視られる貴重な機会

“百聞は一見に如かず”、この言葉の大切さを再認識した5日間でした。初日に村長に「みんなが思う地方創生ってどういうもの？」と尋ねられました。その時、私は教科書で習うようなありきたりな、少子高齢化問題などしか思いつきませんでした。確かにそれも答えです。しかし、実際に地域に行って、現場をのぞいてみると私たちが普段考えもしないような課題がたくさんありました。地域によって課題は異なりますし、それを自身の目で見て、どうすればよいかを考えることは非常に重要です。短い期間でしたが自身の価値観が広がったり、多くの知識を得た貴重な時間でした。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

早稲田大学2年

須賀 渉大

#北川村の覇気と誇りを感じた5日間

役場や農家の方々との交流を通じて、北川村活性化に対する熱い想いと、ゆず王国として知られる村への誇りを体感することができました。村人全員が北川村を誇りに感じるために何が必要なのか、柚農家として生きる魅力をどう外部に発信するか、真剣に考え動いている方々のお話が印象に残りました。

ゆず農家の魅力や地方創生に興味を持った方は、是非北川村の取り組みについて調べてみてください！

早稲田大学2年

高田 夏子

単なる「村」では味わえない5日間

広い空や川、濃い緑をアクセントに、ゆずや温泉、モネの庭園がある高知県北川村で、5名の仲間と5日間の活動を通して「地域課題」と「生産者さん含め村民の方の思い」を知ることができました。北川村の産物である「ゆず」を収穫しながら現地の方のお話を聞いたり、汗を流しながら生産者さん側に立つという最高の体験ができました。観光を楽しめたこともクラチャレの良い思い出です。過疎化が進む地域だけでなく、坂本龍馬銅像やモネの庭などの観光名所も味わえたことで、過疎地域だけでなく、高知県全体で物事を捉えることができました。「地方創生」、「フードロス」に興味がある方にクラチャレはすごくお勧めです。是非チャレンジしてみてください！

中央大学2年

上野 竜空

#4. 総括

KURADASHI 地方創生基金 は、地域経済の活性化と社会発展に寄与するために建てられました。

クラダシチャレンジ は、学生を地方自治体に派遣し、学生と地方農家を繋ぐエコシステムを実現し、地域経済の活性化とフードロス削減を図ってまいります。

- **活動中** | 未収穫品から新たな収益を生み出し、経済面で地方・農家を支えます。さらに、学生の派遣により町に活気をもたらし、地域の魅力を SNS 等で発信することでさらなる発展のパワーに繋がります。
- **活動後** | 学生が自治体や農家の方 1人1人の温かみに触れ、地方・農業の魅力を体感することで、将来のキャリア選択を通して地域に貢献しようという意識が芽生えます。

株式会社クラダシは、北川村以外の自治体でも支援を引き続き行なってまいります。

ご質問・ご相談等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。



社名

株式会社クラダシ

設立

2014年7月

所在地

東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

代表者

代表取締役社長 関藤 竜也

事業内容

社会貢献型フードシェアリングプラットフォーム

「KURADHASHI」の運営

URL

<https://www.kuradashi.jp/> (ショッピングサイト)

<https://www.kuradashi-mottainai.com/> (会社HP)

